



いわきの子

岩城小学校
学校便り
第49号
R5.12.11
文責：佐藤

〈学校教育目標〉「ふるさとに誇りをもち たくましく生き抜く 子どもの育成」

全国学力・学習状況調査の結果より

令和5年4月18日（火）に6年生が実施した「全国学力・学習状況調査」結果の概要についてお知らせします。（個人票についてはPTAで配付済み）

【教科について】

平均正答率	国語	算数
岩城小学校	70.0	64.0
秋田県	72.0	65.0
全国	67.2	62.5

- ・国語では、正答率93%、71%の割合が高かったが、正答率42%、36%の割合も高く、個人差が大きい。文の要約や言葉の使い方等は県平均を上回っているが、自分の考えをまとめる記述式の問題に無回答が見られた。

- ・算数では、平均正答率が県平均を上回った問題は、16問中7問あった。データの活用はよくできていて、国語に比べると無回答率も低かった。しかし、図形の領域の正答率が低くなっている。



- 自分の考えをまとめて書く場面では書き出しやキーワードを示すなどして、書くことへの抵抗感を減らすようにする。また、目的や条件、意図に応じた読み方や答え方を具体的に指導することで、伝える力を高めていく。
- 図形領域では、図形を構成する基本的な要素や図形の性質について各学年でしっかりおさえ、図形の見方についての感覚を養うことができるようにする。
- 問題で「きかれていること」や「答え方」などを把握する力を高められるよう、一人一人が問題文からそれらを読み取る時間や機会の保障をする。

【質問紙について】

- ・46問中28問で肯定的な回答の割合が県平均を上回っていて、安心できる人間関係のもとで意欲をもって学習に取り組み、自己肯定感を高めている児童が多い。
- ・「学習に対する興味・関心や授業の理解度等」に関する設問については、国語・算数共に肯定的回答の割合が非常に高い。国語や算数を学ぶよさや楽しさを感じている児童が多いと考えられる。
- ・「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」では、肯定的回答の割合が93.4%で県平均を10.4ポイントも上回った。それに対し、「話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」では、肯定的回答の割合が83.3%にとどまっている。話し合いによる考えの深まりや広がりを児童が実感できるようにしていく必要がある。



- 話し合いで出された意見を視覚化して共有し、それらを活かして自分の考えをまとめることで考えが深まった、広がったという実感をもてるようにさらに工夫していく。

裏面に由利本荘市の結果を掲載します